

# TOSHIN Hearing NEWS

2022年6月発行

## 令和4年度診療報酬改定 vHITの診療報酬適用が決定

令和4年度診療報酬改定において、ビデオヘッドインパルス検査（vHIT）が以下の通り新たに保険収載されました。

別表第一 医科診療報酬点数表

D250 平衡機能検査 6 ビデオヘッドインパルス検査 300点

別添1 医科診療報酬点数表に関する事項 D250 (9)

平衡機能検査

「6」のビデオヘッドインパルス検査は、眼球運動記録用のCCDカメラと頭部運動を検出するセンサーが内蔵されたゴーグルを用いて、定量的に平衡機能の評価を行った場合に算定する。

vHITはベッドサイドでも施行可能な簡便な半規管機能検査で、外側半規管の機能だけであればリオン社製「眼球運動検査装置 ICS Impulse」で検査・解析が約3分間で可能です。

リオンは以前より適切なvHIT手技の普及を目指しており、埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科・神経耳科教授池園哲郎先生、講師新藤晋先生の監修のもと、ビデオヘッドインパルス検査に関する解説動画や、リーフレット「vHITによるめまい診療の新展開」を作成し、医療従事者向け会員制ポータルサイト「Rionet MedPort」で公開しています。※閲覧には事前登録が必要です。

ICS Impulseに関するご相談・お問い合わせ、リーフレットのご請求、「Rionet MedPort」への登録は弊社営業担当にお申し付けください。



Rionet MedPort



【ICS Impulseを用いたvHITの解説】  
ビデオヘッドインパルス検査を  
動画で分かりやすく解説！

監修：埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 神経耳科  
教授 池園 哲郎先生  
専任講師 新藤 晋先生

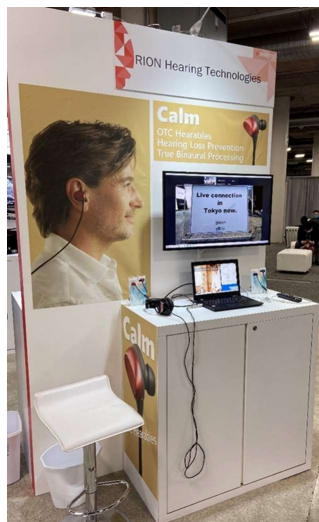
### 目次

- 1 令和4年度診療報酬改定 vHITの診療報酬適用が決定
- 2 都内初！「港区モデル」補聴器購入費の助成をスタート
- 3 兵庫県が400名を対象に補聴器活用度調査
- 4 聴覚補助型ヒアラブルデバイスをリオンが開発
- 5 「補聴器を購入する前に」日本補聴器販売店協会が啓発動画を公開
- 6 店舗紹介 東大阪店移転

## 都内初！「港区モデル」 補聴器購入費の助成をスタート

各地で加齢性難聴に対する補聴器購入費助成事業が続々と開始されていますが、東京都港区で画期的ともいえる「港区モデル」が開始されました。「港区モデル」とは、難聴高齢者を早期発見し早期に補聴器装用が開始されるように、「聞こえのチェックリスト」を活用した自己チェックの実施と聞こえに関する講座を開催すること。安心して制度を利用できるように補聴器相談医、認定補聴器技能者が必ず関わること。購入後も補聴器が使用され続けるように、認定補聴器技能者による調整やアフターケアが受けられることまでを支援しており、令和2年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「自治体における難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究」に港区の高齢者支援課長が参加し、研究結果を基に制度化されました。対象年齢は60歳からとし、所得制限がないことや助成限度額も137,000円（住民税課税の方は1/2の68,500円）と、他の自治体よりも現実的な購入価格に近く、自己負担が非常に少なく済むという点も他を凌駕しています。

## 聴覚補助型ヒアラブルデバイスをリオンが開発



我が国では難聴を自覚する人のうち、補聴器を所有する割合はわずか 14.4%にすぎず、聴力低下を自覚しつつも医療機関の受診や、補聴器の使用に至らない人々も多く存在していると言われています。リオン株式会社では多様化する聞こえのニーズに応えるため、聴覚補助型ヒアラブルデバイスの開発に取り組み、2022年1月にラスベガスで開催された世界最大規模のテクノロジー見本市 CES (Consumer Electronics Show) にそのコンセプトモデルを出展しました。

今回のコンセプトモデルにはリオンが長年にわたる補聴器開発で培ってきた音響信号処理技術に加え、空間情報を保持したビームフォーミングや突発音抑制、風雑音抑制等の最新の信号処理技術が搭載されており、騒音環境下や複数人での会話における言葉の聞き取り改善を期待することができます。また、「カジュアルに身につける」をテーマに、装着する心理的なハードルを下げることを追求したデザインとなっています。

注) ヒアラブルデバイスとはウェアラブルデバイス（手首や腕、頭などに装着するコンピューターデバイス）の一種で、より音声に特化したデバイスのことを指します。

## 「補聴器を購入する前に」日本補聴器販売店協会が啓発動画を公開



この動画は補聴器の使用を検討している方や、そのご家族に対して、「1.聞こえにくいと感じたら」「2.専門医に相談しよう」「3.はじめての補聴器」「4.安心して使い続けるために」の4つのストーリーから構成されており、耳鼻科受診の重要性や補聴器購入までの流れ、さらに購入後の装用の注意点、周囲の方々の配慮方法、調整やメンテナンスについてわかりやすく説明されています。厚生労働省補助事業として作成され、YouTube や特設サイト (<https://www.jhida.org/movie/>) で公開されています。医師の診察を受けずに補聴器を購入した方の中には、耳の治療が必要なケースや、適した補聴器が選択されていないケースがあり、消費者センターへの苦情が報告されていることから、正しい補聴器の普及啓発のために広く活用されることが期待されます。

## 店舗紹介 トーシン・東大阪補聴器センターが 2022年4月11日に移転オープン

東大阪店が皆様に快適な空間でご利用いただけるよう、店舗拡張し移転オープンいたしました。

新店舗は駅からすぐの場所にあり、ゆとりのあるスペースで、皆様のご要望にお応えできる体制を整えております。

住 所 : 〒577-0056  
大阪府東大阪市長堂 1-5-6  
(布施駅前セントラルビル地下1階)  
電 話 : 06-6787-4133 変更なし  
ファックス : 06-6787-4130 変更なし  
営業時間 : 午前10時～午後6時  
定休日 : 日曜・祝日・第2土曜



TOSHIN Hearing NEWS 発行元

 **東神実業株式会社**  
**トーシン補聴器センター**

本 社 : 〒550-0002 大阪市西区西本町2-4-7

T E L : 06(6531)2541 F A X : 06(6531)3398

U R L : <http://www.toshin-ha.co.jp/>